



# 芝小だより 2月号

発行所 港区立芝小学校  
〒105-0014  
港区芝 2-21-3  
[TEL:03-3456-3072](tel:03-3456-3072)  
FAX:03-3456-3071

## 日本のよさを大切に

校長 川原 哲郎

1月14日(金)から1月21日(金)まで、「書き初め展」が行われていました。学校公開とも期間が重なっていたので、多くの保護者の皆様に子供たちの力作を見ていただけたことと思います。

私は、子供たちが書き初めをしている姿や書き上げた作品を見るのがとても好きで、毎年、楽しみにしています。今年初めて、芝小の子供たちが書き初めをしている姿を見ました。緊張感があり、一人一人が真剣に集中して書いている姿が素晴らしかったです。3年生以上は、体育館で行いましたが、体育館が静まり返り、書き初め用紙を前に一画一画丁寧に書いていて、普段の授業では見られない子供たちの一面を見ることができました。1, 2年生は教室で硬筆の書き初めでしたが、消しゴムを使えないという緊張感があり、子供たちはとてもよい姿勢で、お手本を見ながら一文字一文字丁寧に書いていました。書き上がった作品からも、子供たちの緊張感などが伝わってきました。

「書は人なり」「字は体を表す」「書は心画なり」といった、書にまつわる言葉はいろいろあります。どれも「その人の書いた字は、その人の性格を表している。」「文字は、書いた人の心をそのまま反映している。」というような意味があります。子供たち一人一人の作品を見てみると、そのことが伝わってきます。1年生は初めての書き初めで、緊張感はもちろん、「きれいに書く」という気持ちが伝わってくる作品が多くありました。入学して9ヶ月。本当に字が上達したと感じました。3年生は初めての毛筆による書き初めでした。とても元気のいい、のびのびと書かれた作品が多く、驚かされました。6年生は、小学校生活最後の書き初め。細かいところも意識し、筆先を上手に使用して書き上げている作品は、さすが6年生と感心しました。

パソコンなどが発達し、手書きのものが少なくなっている現代ですが、手書きのよさや、字を丁寧に書こうという気持ちは、時代が変わっても大事にしていかななくてはならないものだと思います。「書き初め」や普段の「書写」の時間は、字をきれいに書くだけではなく、書道という日本の伝統・文化に触れる機会です。こうしたことを通して、日本の伝統や文化のよさにも目を向け、大切にしていける子供たちを育てていきたいと思っています。

### 令和3年度 港区子どもサミット「インターネットこどもルール」について

港区では、区内の全小中学校の代表者が集まり、その年のテーマに沿って話し合う「子どもサミット」が開かれます。今年度も12月に行われ、6年生の代表者が参加しました。そのサミットで決まった提言を御紹介します。子供たちは、タブレットを使用することにずいぶん慣れてきました。これからも、安全に正しく活用してほしいと思っています。

- 提言1 「自分も相手も傷つけないように SNS を活用しよう。」
- 提言2 「クリックする前に、立ち止まろう。危険性を考えて、インターネットトラブルを予防しよう。」
- 提言3 「学習を豊かにするためのタブレットであることを意識できるように、互いに声かけをしよう。」
- 提言4 「作品と画像を使用する際は、権利者の確認をとり、出典を記そう。」
- 提言5 「家庭内でインターネットの利用時間を決め、健康な生活を送ろう。」